

年間授業計画

東京都立芝商業高等学校 令和4年度 教科(商業)科目(財務会計Ⅰ) 年間授業計画

教科:(商業)科 目:(財務会計Ⅰ) 単位数:(3)単位

対象学年組:第2学年系必修①

使用教科書:(新財務会計Ⅰ)

使用教材:(反復式学習と検定 会計問題集 全商1級会計 改訂版 (実教出版))

指導内容(標準・★発展)	指導内容(基礎振り仮)	具体的な指導目標(標準・★発展)	具体的な指導目標(基礎振り仮)	評価の観点・方法(標準・★発展)	評価の観点・方法(基礎振り仮)	配当時	
4月	第1編 財務会計の基礎 第1章 企業と会計	特殊な取引Ⅰ ○ 企業会計の意味と役割を理解させる。 ○ 財務会計の機能と会計公準の内容について理解させる。 ○ 企業会計の発展の歴史について、その概略を明らかにする。	○ 企業会計の意味と役割を理解させる。 ○ 財務会計の機能と会計公準の内容について理解させる。 ○ 企業会計の発展の歴史について、その概略を明らかにする。	○ 財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、財務会計の意義や制度について理解している。 ○ 企業会計の基礎的内容を理解し、企業会計制度と会計法規に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	○ 知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。 ○ 当該単元の内容を理解したか。	4	
		特殊な取引Ⅱ ○ 会計法規の必要性を理解させ、その種類と内容について、概略を理解させる。 ○ 企業会計原則および企業会計基準の役割と内容を明らかにし、一般原則の内容について理解させる。 ○ 財務諸表の種類を明らかにする。	○ 自己受替手形の手形関係を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ○ 手形の書き換えの意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ○ 手形が不渡りになった場合の処理手続きと記帳方法を理解させる。 ○ 着付為替手形の意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。	○ 企業会計の基礎的内容を理解し、企業会計制度と会計法規に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	○ 練習問題を通して、取引の仕訳の基本的な仕組みについて理解を深めます。	4	
	第2編 貸借対照表 第3章 貸借対照表のあらまし	特殊仕訳帳 ○ これらから貸借対照表の役割や区分表示、様式など、その概略について理解させる。 ○ 貸借対照表の項目である資産・負債・純資産について学習することを明らかにする。 ○ 資産の意味・分類を理解させる。 ○ 資産評価の意味・基準を明らかにし、その重要性を理解させる。	○ これらから学ぶ貸借対照表の役割や区分表示、様式など、その概略について理解させる。 ○ 貸借対照表の項目である資産・負債・純資産について学習することを明らかにする。 ○ 資産の意味・分類を理解させる。 ○ 資産評価の意味・基準を明らかにし、その重要性を理解させる。	○ 資産に関する処理法や貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、会社計算規則に基づく貸借対照表を作成することができる。また、貸借対照表に関する基本的な会計理論についても、理解している。	○ 特殊仕訳帳・仕訳帳分割の意味を明らかにし、複合仕訳帳制度の仕組みとその長所を理解させる。 ○ 現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を、それぞれの特殊仕訳帳と用いた場合の記帳方法、転記のしかたを十分に理解させ、習熟させる。	○ 貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、会社計算規則に基づく貸借対照表を作成することができる。また、貸借対照表に関する基本的な会計理論についても、理解している。	2
	第4章 資産の意味・分類・評価						2
	第5章 流動資産当座資産						8
5月	第6章 流動資産 棚卸資産・その他の流動資産	決算整理 (費用・収益の見越しと繰り延べ) (減価償却) ○ 棚卸資産の意味と種類を明らかにする。 ○ 棚卸資産の取得原価と費用配分の原則について理解させる。 ○ 有形固定資産の意味・種類を明らかにし、取得原価の計算について理解させる。 ○ 資本的支出と収益的支出の意味を理解させる。 ○ 有形固定資産の期末評価を理解させる。 ○ 減価償却の意味を明らかにし、計算方法を習熟させる。 ○ 減価償却の処理法、有価証券の評価替えなどの記帳方法を理解・習熟させる。	○ 費用・収益の繰り延べ・見越しの意味とそれぞれの記帳方法を理解させ、習熟させる。 ○ 減価償却の処理法、有価証券の評価替えなどの記帳方法を理解・習熟させる。	○ 決算整理とともなう決算手続きに関心を持ち、決算報告としての貸借対照表と損益計算書の作成に自ら進んで取り組み、作成された会計帳簿や貸借対照表・損益計算書からビジネスの諸活動を把握しようとしているか。	10		
	第7章 固定資産 有形固定資産	財務諸表の作成 ○ 無形固定資産の意味と種類を明らかにする。 ○ 無形固定資産の取得原価に就いて理解させる。 ○ 投資有価証券の期末評価について理解させ、その記帳に習熟させる。 ○ 子会社株式・関連会社株式の期末評価について理解させる。	○ 費用・収益の繰り延べ・見越し、間接法、有価証券の評価などを含めた財務諸表の作成に習熟させる。		8		
6月	第8章 固定資産 無形固定資産	(貸借対照表) (損益計算書) ○ 無形固定資産の意味と種類を明らかにする。 ○ 無形固定資産の取得原価に就いて理解させる。 ○ 投資有価証券の期末評価について理解させ、その記帳に習熟させる。 ○ 子会社株式・関連会社株式の期末評価について理解させる。			8		
	第9章 固定資産投資その他の資産					6	
7月	第10章 負債の意味と分類	5 伝票による記帳 ○ 負債の意味と分類を明らかにし、分類基準を理解させる。				2	
	第11章 流動負債					4	
9月	第12章 固定負債	本支店の取引 ○ 固定負債の意味と分類を明らかにし、その記帳に習熟させる。 ○ 社債の発行・利払い・期末評価・償還の記帳方法を理解させる。 ○ 長期借入金・退職給付引当金の記帳に習熟させる。 ○ 借入金・借入金・退職給付引当金の記帳方法を理解させる。	○ 支店会計の独立の意味を理解させる。 ○ 支店会計が独立している場合の本支店間の取引、支店相互間の取引の記帳方法を理解させる。		6		
	第13章 純資産の意味と分類					2	
10月	第14章 資本金	本支店の財務諸表の合併 ○ 株式会社の本資本金について理解させる。 ○ 資本金の増加・減少の処理方法を習熟させる。	○ 本支店合併の損益計算書・貸借対照表の作り方を理解させ、その作成に習熟させる。		2		
	第15章 資本剰余金					4	
	第16章 利益剰余金	株式会社の取引 (株式の発行) (純利益の計上) (剰余金の配当と処分) ○ 利益剰余金の意味と分類を明らかにする。 ○ 利益準備金、任意積立金に関する基本的な記帳方法を理解させる。 ○ 剰余金の配当の意味と記帳法について理解させる。	○ 株式会社の設立と株式発行時の記帳方法を理解させる。 ○ 純利益の計上と剰余金の配当および処分に関する取引の記帳方法を理解させる。	○ 純資産に関する処理法や貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、会社計算規則に基づく貸借対照表を作成することができる。また、貸借対照表に関する基本的な会計理論についても、理解している。	○ 純利益の計上と剰余金の配当および処分に関する取引の記帳方法を理解している。	4	
	第17章 自己株式					2	
	第18章 貸借対照表の作成	株式会社の取引 (社債の発行) (社債の償還) (株式会社の税金) ○ 棚卸法と誘導法を理解させる。 ○ 貸借対照表作成上の原則や注記などについて理解させる。 ○ 貸借対照表の作成について、会社計算規則による場合を中心に習熟させる。	○ 社債の意味と発行、利払い、決算における記帳方法を理解させる。 ○ 社債の償還時における記帳方法を理解させる。 ○ 法人税・住民税・事業税の記帳方法を理解させる。	○ 資産・負債・純資産に関する処理法や貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、会社計算規則に基づく貸借対照表を作成することができる。	○ 社債の償還時における記帳方法を理解している。	4	
11月	第3編 損益計算書 第19章 損益計算書のあらまし	株式会社の設立・開業・株式発行 ○ 損益計算書の役割・区分・様式など、その概略を明らかにする。	○ これまで学習した株式会社の設立と開業時にかかる諸経費のより専門的な記帳方法を理解させる。 ○ 増資による株式発行の記帳方法を理解させる。		2		
	第20章 損益計算の意味と基準					4	
	第21章 売上高	株式会社の剰余金の配当と処分 ○ 売上高を計上する基準について理解させ、記帳や計算などに習熟させる。 ○ 工事収益の計算と記帳に習熟させる。	○ これまで学習した株式会社の利益計上と利益処分より専門的な記帳方法を理解させる。 ○ これまで学習した社債の償還時におけるより専門的な記帳方法を理解させる。	○ 収益・費用に関する処理法や損益計算書の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、会社計算規則に基づく損益計算書を作成することができる。また、損益計算書に関する基本的な会計理論についても、理解している。	○ 利益計上と利益処分のより専門的な記帳方法を理解している。	6	
12月	第22章 売上原価、販売費及び一般管理費	株式会社の社債と税金 ○ 売上原価の意味と販売費及び一般管理費の種類について整理する。	○ これまで学習した社債の意味と発行、利払い、決算におけるより専門的な記帳方法を理解させる。 ○ これまで学習した社債の償還時におけるより専門的な記帳方法を理解させる。		2		
	第23章 営業外収益・営業外費用	総合練習問題 ○ 営業外収益・営業外費用の意味・種類を明らかにする。 ○ 経常利益・経常損失の意味を明らかにする。	○ これまで学習した法人税・住民税・事業税のより専門的な記帳方法を理解させる。	○ 内部利益の控除について理解している。	4		
	第24章 特別利益・特別損失	総合練習問題 ○ 特別利益・特別損失の意味・種類を理解させる。 ○ 損益計算書の税引前当期純利益から下の表示について理解させる。	○ これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる力の習熟をはかる。過去検定問題の利用		2		
	第25章 損益計算書の作成 ★発展 本支店内部利益					4	

1月	第26章 その他の財務諸表 ★発展 銀行勘定調整表	総合練習問題	<ul style="list-style-type: none"> 株主資本等変動計算書の意味とその作成方法を理解させる。 注記表・附属明細書の記載内容に触れる。 銀行側からの観点・会社側からの観点を理解する。 	これまで学んだ記帳内容の知識と技術を総合的に活用できる能力の習熟をはかる。過去検定問題の利用		過去検定問題の利用し合格点をとれるか。	2
	第4編 財務諸表の活用 第27章 財務諸表のディスクロージャー	貸借対照表のあらし	<ul style="list-style-type: none"> 企業と利害関係者およびディスクロージャーについて理解させる。 売却・除却・消失の各項目における減価償却費を計算する。 	これから学ぶ貸借対照表の役割や区分別表示、様式など、その概略について理解させる。 貸借対照表の項目である資産・負債・純資産について学習することを明らかにする。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャーのあり方について理解するとともに、財務諸表分析に関する基礎的・基本的な知識を身につける。また、財務諸表の活用の仕方を理解している。 	資産・負債・純資産について理解する	2
	第28章 財務諸表分析	流動資産 当座資産	<ul style="list-style-type: none"> 財務諸表分析の意味・方法を明らかにする。 関係比率法・実数法による分析の種類を明らかにし、それぞれの方法について理解させる。 クレジット売却金の考え方を理解させる。 	当座資産の意味と種類を明らかにする。 現金預金・受取手形・売却金・有価証券の評価と記帳方法について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 売却・除却・消失の各項目における減価償却費を計算できる 	当座資産の意味を理解する	6
	5編 連結財務諸表 第29章 連結財務諸表のあらし	棚卸資産・その他の流動資産	<ul style="list-style-type: none"> 連結財務諸表の意味や目的を明らかにし、連結財務諸表の概略を理解させる。 親会社と子会社の意味、さらに連結財務諸表の重要性を理解させる。★検収基準を理解し計上する。 	棚卸資産の意味と種類を明らかにする。 棚卸資産の取得原価と費用配分の原則について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 連結財務諸表に関する各種の仕訳の意味を理解し、連結貸借対照表・連結損益計算書・連結株主資本等変動計算書作成のための知識を身につける。 	棚卸資産の意味を理解する	2
	第31章 連結財務諸表の作成 PART 2 ★決算の返品と棚卸減耗費について	有形固定資産	<ul style="list-style-type: none"> 連結貸借対照表の作成手続きを理解させる。 子会社の資産・負債の時価評価による評価替えのための連結仕訳を理解させる。 投資と資本の相殺消去の手続きについて、持株比率が100%の場合と100%未満の場合に分けて理解させる。 	有形固定資産の意味・種類を明らかにし、取得原価の計算について理解させる。 資本的支出と収益的支出の意味を理解させる。 有形固定資産の期末評価を理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> また、有価証券報告書を見て、連結財務諸表を有効に利用するための基礎的・基本的な知識も身につける。 ★検収基準を理解し計上することができる。 	資本的支出と収益的支出の意味を理解する	6
2月	総合記帳演習 ★消費税の税込方式と税抜方式について	投資その他の資産	<ul style="list-style-type: none"> 支配獲得日から1年経過後における連結貸借対照表作成について、その手続きの概略を理解させる。 当期分の連結仕訳として、のれんの償却、支配獲得日後に生じた子会社の純利益の振り替え、親会社と子会社相互間の債権・債務の相殺消去、親会社と子会社相互間の仕入と売上上の相殺消去、未実現利益の消去、子会社の配当金の修正について理解させる。 ★消費税の税込方式と税抜方式についての仕訳を理解する。 	投資その他の資産の意味と種類を明らかにする。 投資有価証券の期末評価について理解させ、その記帳に習熟させる。 子会社株式・関連会社株式の期末評価について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> ★消費税の税込方式と税抜方式についての仕訳を理解できる。 	投資その他の資産を理解する	6
		負債の意味と分類		負債の意味と分類を明らかにし、分類基準を理解させる。			
3月	総合記帳演習 ★総合記帳演習	流動負債 固定負債	<ul style="list-style-type: none"> 1か月分の取引の記帳と決算を行う問題 財務諸表の作成とそれを分析する問題 ★取引の記帳と決算を行う問題 	流動負債の意味と種類を明らかにする。 引当金の意味を明らかにし、役員賞与引当金の記帳について理解をはかる。 保証債務の記帳法を理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至る簿記一巡の手続の基本的な流れについて、理解している。 	流動負債の意味と種類を理解する	10